

静間小だより

～気づき 考え みんなで創り出すⅡ～ 令和8年 3月号

「気づき 考え みんなで創り出す」 ㉒

「気づき 考え みんなで創り出す」という合言葉を意識し、子どもたちは多くの学びの経験とくらしづくりの経験を積み上げました。

修了式では、日本の伝統的な遊戯「いろはかるた」をもとに、令和7年度をスライドを使いながら振り返り、令和8年度に向けた気持ちを高めました。

令和7年度を振り返る 静間小「いろはかるた」

 <p>気づき 考え みんなで創り出す 本気がいっぱい！！ 学びがいっぱい！！ しかけがいっぱい！！ 令和7年度でした</p>	<p>いろは かるた (お正月の伝統遊戯)</p> 	<p>いち年生、 4名が仲間いり</p> 	<p>ろうかに 学びがいっぱい</p> 	<p>みんなのつながり ぱっちり静間</p> 
<p>にんげんは みんなちがって みんないい</p> 	<p>ほいくえんの みんなとともに</p> 	<p>へい和学習 平和の尊さを学ぶ</p> 	<p>ともだちみんなで 学校を創り出す</p> 	<p>ちゃんと大きくなってね ふやすぞ！ハマナス</p> 
<p>連合運動会(りく上) 競技・応援最高</p> 	<p>ぬくもり感じる ハマナスジャム</p> 	<p>ルールを考え みんなできらし創り</p> 	<p>みんなをまとめる かっこいい6年生</p> 	<p>しあわせ願い YUKI BAND</p> 
<p>がっきゅうみんなの つながりを求めて5年生</p> 	<p>ようこそ1年生 2年生の学校あんない</p> 	<p>た Brett 使って 学びを創る</p> 	<p>れい和の新時代 静間文化を創ろう</p> 	<p>たくさんの力を ありがとう そう行式</p> 
<p>ともだちとつくり出す！ 学級の文化</p> 	<p>つくり出す自分の学び</p> 	<p>KKMIに チャレンジ 大きく成長 2ねんせい</p> 	<p>なかよく みんなでれんげ畑</p> 	<p>しずまさらだでげんき できるようになったこといっぱい</p> 
<p>むねが熱くなった 1年生の立派な姿</p> 	<p>うん動会 よく創った！！</p> 	<p>あろいろ気づいて 考えて 創ったよ 2年生のおもちゃ祭り</p> 	<p>銀山の魅力 奈良まで広がった</p> 	<p>おおだのたから 石見銀山学習</p> 

<p>くろめ先生 来てくれてありがとう</p> 	<p>やりきれ！！ 書ききれ！！ 伝えきれ！！</p> 	<p>おもちゃ広がり！！ わたしたちのまなび</p> 	<p>ゲームで楽しむ 縦割りあそび</p> 	<p>相手を意識し、 まとめる力を！！ しんぶんづくり</p> 
<p>連ごう音楽会 「本気」が「メロディー」をつかった</p> 	<p>えっ！ こんなにいいにおい！！ ハマナス最高じゃん！！</p> 	<p>てれながら でも うれしさいっぱい1年生</p> 	<p>ありがとう ゆき先生</p> 	<p>絆が強まる サッカーフェスティバル</p> 
<p>きづきから いい学び</p> 	<p>ユネスコで表彰！！ ハマナスは静間の宝</p> 	<p>5年のめい探偵が謎解き 工夫された発表で、 みんな大喜び</p> 	<p>みんなと楽しく すごせた遠足</p> 	<p>1泊2日の しゆく泊体験 協働</p> 
<p>糸がおが素敵 静間っ子</p> 	<p>ひろう(つかれ)の中でも 本気でやりきった！！</p> 	<p>もっといっしょにいたい 6年生</p> 	<p>せんせいがた ありがとうございました。</p> 	<p>すべてが 気づき 考え みんなで創り出す につながっています。</p> 

令和7年度
いろいろありましたね。

令和8年度も
よい年になりますように。



8名の6年生が卒業しました そして今年度が修了！！ 保護者・地域の皆様ありがとうございました



この1年間「気づき 考え みんなで創り出す」という重点目標の実現に向けて、子ども主体の学びづくりとくらしづくりをめざして教育活動を行ってまいりました。私は、全校朝礼や儀式等の中で、この重点目標に込められた思いやこの重点目標に沿った子どもたちの素敵な姿を伝えてきました。この静間小だよりを通して、保護者の皆様にも取組の様子をお伝えしてきました。1年間、子どもたちにどんな思いを伝え、どんな素敵な姿を共有してきたのかを振り返ると、とても懐かしい思いになります。1年という月日が経つはやさを実感しています。静間小学校の子どもたちは本当に可愛く、素敵です。

この1年間の取組を礎として、統合する令和8年度の「気づき 考え みんなで創り出す」取組も、3校のみんなでもより有意義なものにしていけるとよいと思っています。保護者・地域の皆様方におかれましては、静間小学校教育への大きなご支援、ご協力、誠にありがとうございました。皆様とつながり合って、1年間の学校経営、学校運営ができましたことをうれしく思っています。今年度も多くの成果を生み出していくことができました。

そして、この1年間常に中核となって活躍してきた6年生が17日に卒業しました。私が校長として、8名の卒業生に贈ったはなむけの言葉の一部をご紹介します。

～前略～

君たちが卒業かと、しみじみとこの2年間を振り返っています。そんな君たちのことが私は大好きで、可愛くて仕方ありませんでした。わずか8人なのに、たくさんの試練をよく乗り越えてきましたね。少ない人数だからこそ、仲間と過ごした時間は長く、互いが強い絆で結ばれ、きっと全員が生涯の友になれると思います。しかし、学校のリーダーとなって活動した6年生の1年間は、「自分たちだけで何ができるんだ」と悩んだこともあったと思います。時には、投げ出してしまいたいと思ったこともあったと思います。そんな時、担任の先生や他の先生方、もちろん家族の励ましはあったでしょうが、全員で協力し助け合いながら、プレッシャーに打ち勝ち、最上級生としての役割を立派にやり遂げました。忘れないでください。みんなの苦勞が全校みんなの幸せにつながっていたことを。みんなの幸せのために、苦勞しながらもその責任を果たしていく、役割を遂行していくことが尊いことなんだ、大事なことなんだと。8人の取組は確実にみんなの合言葉「気づき 考え みんなで創り出す」学校づくりにつながっていました。これこそが、五年生たちが受け継いでいくべき伝統であり、静間小学校の宝です。

日ごろの授業の様子をよく見ました。担任の田淵先生は、とにかくみんながよい学びができるようにと、時間をかけて授業の準備をされていました。特に算数の授業では、今まで学習したことを活かして、新しい問題を解いていく経験、その考えを数学的な理由をつけて伝えていく経験を、みんなに積ませておられました。その経験から得られる「これまでを活かせば、どんなに難しくても、困っても、自分なりの結論を導き出すことができる」という感覚が生きる力になっていくと私は思っています。つまり「気づき 考え 創り出す力」です。この力は、自分の人生を自分で切り開く力であり、幸せな人生を創り出す力です。いい担任の先生に出会いましたね。勉強しながら「難しいな」と思ったことがあったと思います。ですが、その経験がこれからのみんなの支えになっていくと校長先生は信じています。

皆さんにも、ある人の言葉を贈ります。それは「見えないところに見るべきものがある」という言葉です。この世の中には、各自が各自の立場で懸命に生きている人が多くいます。できないことをできるように精一杯頑張っている人がいます。ハンディーキャップがあっても、学び、人とつながり、自分らしく生きようとしている人が多くいます。悩み、苦しみながらも、ほんの少しできたことに大きな喜びを感じながら生きている人が多くいます。それは、表面的に自分の目で見えるものではないでしょう。目では見えないその人の努力や頑張り、一生懸命さ、つらさや苦勞、喜びを感じ取れる人になってほしい。そして、その人にその思いを返せる人になってほしい。決して、見えるところだけで相手を判断したり、責めたり、笑ったりする人になってほしくない。「見えないところに見るべきものがある」それは、よりよく人とつながり、みんなが幸せに生きていくためにはとても大事なことです。「見えないところに見るべきものがある」この言葉はだれの言葉が分かりますか。この人の言葉です。「毛利 伸」という人です。「見えないところに見るべきものがある」常に、人に歩み寄り、寄り添い、気づき、考え、よりよくみんなできらしを創り出すことを大事にしてほしい。それができた時、そこにみんなの幸せな人生があると思っています。みんなの幸せな人生をみんなで創り出していくことができる人になってください。

校長先生に寄り添い、「校長先生、落ち着くわ。」「デジカメ貸してください。」「今日のおなかも校長先生らしくていいですよ。」と言って甘え、校長先生に秘孔をつかれるのが好きだった〇〇さん。とても可愛かったし、とても癒されました。校長先生が感心していた「解決の糸口を見つけて学びを進める習慣」を大事にしてくださいね。

登校中、校長先生の「算数でつけるべき力」や「とんこつラーメン」、「〇〇系ラーメン」、「ドジエモン」、「ムッシュかまやつ」、「気で人を操る」、「ペーラン」、「泥水」、「青

島刑事のセリフ」などの話を、まじめに、そして大笑いをして聞いてくれた〇〇さん。校長先生にとって、とても楽しい朝の時間でした。

いつもクールで、さわやかで、下級生にやさしく、そして校長先生と目が合うといつも笑い返して、手を挙げると手を挙げ返してくれる〇〇さん。あなたを慕っていた下級生は多くいます。〇〇さんはみんなの心の支えになっていました。銀山和牛のしつこい話にも付き合ってくれてありがとう。

「せんだみつお」「細川たかし」「いかりやちょうすけ」「なんてな」2人にしか分からない話で盛り上がった〇〇さん。「グラサンライダー」も面白かった。校長先生のちょっとふざけた話にもまじめに付き合ってくれました。それが〇〇さんの魅力であり、リーダーとしての器だと、私は思っています。なんてな。

「〇〇さん元気」と聞くと、笑顔で「ノー」というのが、私と〇〇さんのあいさつのようなものでした。でもいつも〇〇さんは元気でした。将来的な展望のある考えと話ができる〇〇さんでした。その力はあなたの財産です。学びをくらしに結び付けていくその力をいっそう磨いてください。まだまだ伸びるぞ。

よってきては抱きつき、その体を私も抱き寄せ、前と距離があいたら、「行けー。ペーランだ。」と言えば、素直にダッシュして前に追いつく〇〇さん。「やりきれ」「書ききれ」「伝えきれ」校長先生のこの言葉をいつまでも大事にしてほしい。そう願っています。きっと、野球も勉強も伸びていくから。成長を楽しみにしてるよ。

校長先生の冗談まじりの質問にも、いつもまじめに答える〇〇さん。人を大事にできる、責任感のある子だといつも思っていました。穏やかな気持ちで人と接することができる〇〇さんでもありました。「ビッグオニオン」、2人でその話をして、よく笑いました。ふたたび大きな玉ねぎに行けるようになんげがんばってね。

「めがね違いますね」「ベルト違いますね」「髪切りましたね」変化に気づく観察力はギネス級、ろうかを歩く私にだれよりも早く気づき、目をひん剥いて教室に歓迎してくれた〇〇さん。誇らしい顔で新しい上履きをアピールする〇〇さん。「ダメダメ」と言って2人で楽しんだことも忘れないでね。豆しば大事にします。

こうした何気ない日常でのかわりが、本当に楽しかった。君たちとの思い出は尽きません。運動会でのサンボマスターかっこよかった。ワニマかっこよかった。練習のたびにみんなが明るく、楽しく動けるようになっていく姿がとてもうれしかった。とても素敵な時間でしたね。

『気づき、考え、みんなで創り出す』は、「自分の学びやくらしを本気で創りだしてほしい。このことをとおして、課題を見付けたり、しっかりと考えたり、判断したり、行動したりする力を身に付けてほしい。」という私の思いが込められています。なぜなら、これらのことが、これからの変化の激しい社会を生きていく皆さんに必要なだと考えたからです。これまでの考え方ややり方にとらわれず、自分の頭で考え、判断し、よいと思ったことは、自分で、あるいは仲間とともに取り組んでほしいと思います。こういう人は、どんどん力を付けていきます。自分が幸せになるために、そして、人を幸せにする素敵な大人になるために、中学校以降の生活を精一杯送ってください。そして、いつの日か、大田市や自分が故郷と決めた地に貢献できる人になってほしいと願っています。このことが、これまで皆さんを大切に育ててこられた人たちに対する最大の恩返しになると信じます。

それではみなさん、現静間小学校最後の6年生としての誇りを胸に、たくましく生き抜いてください。

応援しています。

令和8年3月17日 大田市立静間小学校 校長 毛利 伸